

第 1 回都市計画審議会の意見と対応方針について

第 1 回都市計画審議会にていただいた意見をまとめ、その対応方針を示します。

No	意見記入者	ページ数	該当箇所	ご意見	対応方針
1	鈴木委員	45	3 道路・交通整備方針 (1) 道路の整備方針 ④生活道路の整備 ⑤安全で快適な道路空間の整備	小中学生の通学路の安全についての文言を加えてはどうか。 特に中学生は、遠距離や坂道を自転車で通うことになるので、安全の担保は欠かせないと思う。	町内の道路については、安全で快適な道路環境とするため、ユニバーサルデザインを取り入れた道路整備を推進することとしています。また、小中学生の安全な通学方法の確保に向けては、担当課と連携を図りながら検討します。
2	鈴木委員	46	3 道路・交通整備方針 (2) 公共交通の整備方針 ①公共交通の維持・充実、利用環境の向上	デマンドタクシーの導入によって公共交通空白地域が解消されたという前提で中間見直しが進められているが、料金改定後のアンケート結果によると、中心部から離れた地域の利用者の料金負担が増加し、利用控えや片道のみ利用に留める町民がいることが分かっている。今後自動車免許返納者の増加が想定されるが、公的な支援のみでは公共交通手段の確保は難しい。そのような視点からの計画検討は行っているのか。	本町では公共交通活性化協議会を設置し、協議を進めているところです。今年度見直しを行っている地域公共交通計画で記載をしていきたいと考えています。
3	鈴木委員	47	4 都市施設整備方針 (1) 公園等の整備方針 ①まちの魅力及び暮らしの質向上のための公園整備	本町ではこどもまんなか宣言をしているため、公園の施設改修の際には、大人だけでなく子どもの意見も含めていただきたい。	公園の維持管理は行政区を中心に行っているため、公園のあり方等については、行政区と相談し、子どもの意見を取り入れながら検討していければと考えています。
4	江原委員	64	小川地区 3) 都市施設 ①-3 八幡台グラウンド周辺の整備	大塚地域の八幡台における慰霊碑がある場所は景観がよく、周辺には栃本親水公園や仙覚律師遺跡、穴八幡古墳などがあるため、他資源と連携した観光資源としての整備に期待している。本計画では慰霊塔をどのように位置付けているのか。	本計画では、八幡台グラウンド周辺をレクリエーション空間としての公園整備や中城緑地の整備について検討することとしております。慰霊塔の整備につきましても八幡台グラウンド周辺整備と一体的に検討してまいりたいと考えております。
5	田端委員	86、87	竹沢地区 区域区分や土地利用の考え方	竹沢地区について、以前の計画ではひばりが丘住宅団地ができる予定であったが、計画の変更により工業団地が形成された。工業地区に変更になったことにより、竹沢地区における区域区分の考え方について再度検討はされたのか。	人口減少や土地利用の変化などの状況変化に伴い、10年後に都市計画マスタープランを全面改定する際には、区域区分や土地利用の見直しが必要であると考えています。また、突発的な企業進出や社会情勢の変化、上位計画で方針変更があった際には、10年を待たずに見直しを行う可能性もあります。

No	意見記入者	ページ数	該当箇所	ご意見	対応方針
6	鈴木委員	54	(2) 地区区分 (東小川地区、八和田地区)	現在、「中爪グリーンヒル」は八和田地区に含まれるが、東小川6丁目と隣接している同じ住宅団地であるとともに、学区域も東小川と同じである。この際、一体の地区として構想できないか。今回は、中間見直しなので、次回に向けて検討することを加えてはどうか。	中間見直しという位置付けから、地区別構想の地区区分の変更は行いません。ご意見のとおり、計画の全面改定を行う際には、必要に応じて地区区分の見直しを含めた検討を行います。
7	島崎委員	120	1 まちづくりの推進に向けた 進め方 (1) 適切なまちづくり手法 の選択	都市計画マスタープラン、とりわけまちづくりの推進に向けた進め方については、どんなケースでDXを使うのか分からない。 町民にも理解いただくため、なぜここで表記したのか説明を追加するべきではないか。	第6次総合振興計画の策定の考え方では、DXの推進について記載されているため、都市計画分野においてもDXの推進が必要不可欠です。本町では、都市計画情報マップをHP上で公開していますが、その他施策についてもデジタル化やDXの推進を図っていく考えです。